

サマージャンボ宝くじの収益金で整備

■総務課行政係 ☎(74)3132

魅力あるコミュニティ助成事業

公益財団法人群馬県市町村振興協会では、サマージャンボ宝くじの収益金で、町内会や自治会など地域住民が組織する団体（コミュニティ組織）の活動に必要な施設整備や備品整備に対して助成事業を行っています。

区長会では、諸行事を継続・充実させるため、毎年この助成を受け、行事関連および集会施設の備品整備を行っています。



格納庫に収まる消防ホースと筒先
(第12区)



◆ 8月5日(金)まで販売中 ◆

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
道の駅甘楽 ☎(74-5445)でも販売しています。ご利用ください。

今年、第6区で「エアコン」を設置しました。このほか、第5区と第9区で「行政区掲示板」、第9区と第12区で「テーブル・イス」と「消防ホース用格納庫」などを設置・購入しました。

このように、収益金は身近な地域コミュニティ活動の発展に活用されています。
皆さんも宝くじをお買い求めになる時は、群馬県内でお願います。

ルールを守って思いやり運転

夏の県民交通安全運動

「大丈夫！」自己の過信が 事故招く

夏の県民交通安全運動が実施され、町内各地で交通対策協議会、交通指導員、富岡警察署などの皆さんが交通安全・交通ルール・正しいマナーの順守を呼び掛けました。



役場前の県道に立ち注意喚起を行いました



結婚50周年（金婚式）を迎えたご夫婦に慶祝状と記念品を贈呈しました。
おめでとうございます。

金婚式名簿

(敬称略)

氏名	夫妻	地区
新井	重治 栄子	小幡
小野	隆彦 昭子	福島

町では、結婚50周年(金婚)を迎えるご夫婦を祝福しています。

町内に引き続き5年以上お住まいのご夫婦で、婚姻の届出後50年が経過した日以後、いつでも申請することができます。

■ 問い合わせ 福祉課福祉係 ☎67-5162

災害備蓄品の寄贈

■産業課商工観光係 ☎(64)8320

7月15日、一般社団法人日本道路建設業協会関東支部(杉崎匡孝支部長)は、町に「発動発電機」を寄贈されました。

同支部は、社会貢献活動の一環として地域防災拠点に位置付けられている全ての道の駅に災害時などに利用できる発動発電機の設置を目指す取り組みを行っています。

また、一般社団法人関東地域づ



左から、鈴木事務局長、杉崎支部長、茂原町長、三木都市農村交流協会理事長、青木国交省関東地方整備局高崎河川国道事務所長



防災倉庫などを寄贈された奥野理事長(右)

くり協会(奥野晴彦理事長)は、町に「防災倉庫」「かたんたんテント3式」「スタッキングブローテーパー6台」「軽量スチール折りたたみイス6脚」を寄贈されました。

寄贈された備蓄品は、町の防災拠点としての役割が期待される「道の駅甘楽」に配備されます。

道の駅甘楽から 三大パーク巡り

道の駅甘楽



こんにちはパーク
めんたいパーク群馬
群馬サファリパーク

「道の駅かんら」を運営する甘楽町都市農村交流協会は7月11日、『連携に向けた』はじめの一步『交歓会』を開き、「こんにやくパーク」「めんたいパーク群馬」に加え、富岡市の「群馬サファリパーク」の3施設と協力し観光客の周遊を促進する取り組みを始めました。

この日は、完成した「三大パーク巡り」パンフレットが発表され、周遊手段や情報発信など今後の連携について活発な意見交換が行われました。

道の駅設置者である茂原町長は「道の駅が案内役になり各施設がにぎわえば、それが町全体に波及する。甘楽富岡地域の三大パークから群馬の三大パークになってもいい」と話し、同協会の三木

理事長は「各施設によって地域の潜在能力は高まり、さらに連携することで地域を元気にしていきたい」と意気込みを語りました。



「はじめの一步」としてパンフレットを発行



大切に 家族で過ごす この時間
家族との 会話で広がる 笑顔の輪

(新屋小6年 堀越柚葵)
(甘楽中1年 市場しずく)

甘楽町青少年育成推進員連絡協議会が令和3年度に募集した「家庭の日」標語の優秀賞作品です。(学年は3年度・敬称略)

毎月
第1日曜日
家庭の日